

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	遠山郷内の案内表示・デジタル看板化事業
事業主体 (連絡先)	遠山郷観光協会 (0260-34-1071)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,155,113 円 (うち支援金: 736,000 円)

事業内容

当地域の観光周遊ルートの中で、特に下栗関連の看板を補充した。更に、南アルプスエコ登山推進に関係して、徒歩通行・トレッキングの為に案内看板の設置を行った。(森林鉄道跡：梨元貯木場～ながとろの橋、芝沢～便ヶ島) 加えて、和田地区の新名所「金七の滝」入口での観光看板の設置を行った。徒歩用の小看板についてはQRコードを提示し、ポイントにおける数十秒間のドローン映像が見られるようデジタル看板化を行った。



【梨元貯木場のデジタル看板】

【目標・ねらい】

事業効果

- ①国道から分岐して下栗の里に向かう際、そして下栗の里駐車場からビューポイントに向かう道筋での迷いの減少が期待できる。
- ②南アルプス登山道につながる「梨元貯木場～ながとろの橋」「芝沢～易老渡」については、遭難事故の危険性を減らすと共にQRコードを使ったデジタル看板化により一層ウォーキングを楽しんでもらえるよう期待できる。動画はyoutubeでも公開しており認知度向上・PR効果に繋げていく。
- ③新名所「金七の滝」の案内看板については、立ち寄り場所を分かりやすくすると同時にQR付加によってまち歩きの促進を期待している。  
更に南アルプス、ユネスコエコパーク・ジオパークの地域内にある為、ロゴを付加し認知度向上に努めた。動画はネットでも公開している。

- ①観光周遊ルートの中の下栗の里関連の看板を補充し、観光客の道迷いを低減させる。
- ②森林鉄道跡のウォーキングコースに看板を設置し(QR付)、安全対策とPR効果を狙った。
- ③新名所「金七の滝」のPRとまちあるきの推進を狙う。

※自己評価【 B 】

【理由】 材料費の高騰(看板)や予定区間の一部通行止めなどにより計画の変更をせざるを得なかったが、主たる案内看板の設置や、デジタル看板化のノウハウを得て今後につながる事業となった。

今後の取り組み

QRコード付きのデジタル看板を活用しながら、エコ登山・まちあるき・山岳高原観光を推進していく。  
遠山森林鉄道跡・南アルプス登山道の特に山深い区間では、携帯電話エリア外の場所も多い。よって、更なる動画の作成を行いながら、安全対策・遭難防止の観点からも携帯基地局増設の要望活動を行っていく。  
新名所「金七の滝」については、看板を利用した和田地区のまち歩き促進に役立てる。  
デジタル看板については、動画作成・編集・QR化のノウハウを得たので、既存の看板に関連動画のQRコードを付加するなどしながら、更なる普及に取り組んでいく。QRコードは張り替え可能としており、数年毎に動画を更新していく予定である。